

検査実施料に関するお知らせ

(管理番号:21-0047)
2021年03月 C-05

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、「保医発0318第1号」により下記の検査項目の一部変更が通知されましたので、ご案内いたします。

謹白

記

■ 保険収載内容 一部変更項目

項目	保険点数
SARS-CoV-2 抗原検出	600点
SARS-CoV-2 核酸検出	・ 検体採取を行った保険医療機関以外の施設へ輸送し 検査を委託して実施した場合:1,800点 ・ それ以外の場合:1,350点

■ 適用日

2021(R3)年 3月 18日 から適用

▼ 詳細内容

太字下線部分が変更されました。

検査項目	SARS-CoV-2抗原検出
保険点数	600点(150点×4回分)
判断料	免疫学的検査判断料(144点)
診療報酬点数表区分	「D012」感染症免疫学的検査の25
備考	<p>SARS-CoV-2(新型コロナウイルスをいう。以下同じ。)抗原検出は、当該検査キットが薬事承認された際の検体採取方法で採取された検体を用いて、SARS-CoV-2抗原の検出(COVID-19(新型コロナウイルス感染症をいう。以下同じ。))の診断又は診断の補助)を目的として薬事承認又は認証を得ているものにより、COVID-19の患者であることが疑われる者に対しCOVID-19の診断を目的として行った場合に限り、「25」マイコプラズマ抗原定性(免疫クロマト法)の所定点数4回分を合算した点数を準用して算定する。ただし、感染症の発生の状況、動向及び原因を明らかにするための積極的疫学調査を目的として実施した場合は算定できない。</p> <p>COVID-19の患者であることが疑われる者に対し、診断を目的として本検査を実施した場合は、診断の確定までの間に、上記のように合算した点数を1回に限り算定する。</p> <p>ただし、発症後、本検査の結果が陰性であったものの、COVID-19以外の診断が見つからない場合は、上記のように合算した点数をさらに1回に限り算定できる。なお、本検査が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。</p> <p>上記に加え、COVID-19の治療を目的として入院している者に対し、退院可能かどうかの判断を目的として化学発光酵素免疫測定法(定量)又は電気化学発光免疫測定法(定量)によるSARS-CoV-2抗原検出を実施した場合は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における新型コロナウイルス感染症患者の退院及び就業制限の取扱いについて(一部改正)」(令和3年2月25日健感発0225第1号)の「第1退院に関する基準」に基づいて実施した場合に限り、1回の検査につき上記のように合算した点数を算定する。なお、検査を実施した日時及びその結果を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。</p>

検査項目	SARS-CoV-2核酸検出
保険点数	<p>検体採取を行った保険医療機関以外の施設へ 輸送し検査を委託して実施した場合:450点×4回分 それ以外の場合:450点×3回分</p>
判断料	微生物学的検査判断料(150点)
診療報酬点数表区分	「D023」微生物核酸同定・定量検査の12
備考	<p>※詳細略</p> <p>「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における新型コロナウイルス感染症患者の退院及び就業制限の取扱いについて(一部改正)」(令和3年2月25日健感発0225第1号)</p>